

平成28年4月8日  
 四国電力株式会社

## 経済産業大臣への今夏の需給見通しの提出について

当社は、本日、国の指示に基づき、原子力の再稼働がないとした場合の現時点における今夏の需給見通しについて、経済産業大臣に提出いたしました。

今夏も、従来から取り組んでいる火力発電設備の増出力運転や自家発電からの受電を継続することにより、一定水準の予備率は確保できる見通しであります。

当社としては、引き続き、高稼働が続く火力発電設備を始めとした電力供給設備の安定運用に努めることで、電力の安定供給に取り組むとともに、安全の確保を大前提に、早期に伊方発電所3号機を再稼働できるよう、原子力規制委員会による使用前検査の対応に、最善の努力を尽くしてまいります。

以上

国の指示

電気事業法第106条第3項の規定に基づく報告徴収

「2016年度夏季の電力の供給力及び需要の見通しについて」(4月6日付)

(参考) 原子力の再稼働がないとした場合の今夏の需給見通し(現時点)

(発電端：万kW、%)

項目	需要	平年並み気温 (定着した節電効果を織込み)		猛暑気温 (定着した節電効果を織込み)	
		7月	8月	7月	8月
最大電力(A)		524		543	
供給力(B)		581	574	581	574
予備力(C=B-A)		57	50	38	31
予備率(C/A*100)		10.8	9.6	6.9	5.8

H22 年度夏季の気温相当